



特定非営利活動法人 日本歯周病学会

2024年 第1号 (4月)

ニュースレター

〒170-0003

東京都豊島区駒込 1-43-9 (一財) 口腔保健協会内

TEL: 03-3947-8891 FAX: 03-3947-8341 <http://www.perio.jp/>

発行人 沼部幸博 編集 広報委員会

【主要コンテンツ】 追悼：西原迪彦先生 秋季学術大会関連のご案内 日本歯科専門医機構報告
学生会員制度等の創設について AAP-JSP/JACP2024 大会のご案内 理事長選挙中間報告

2度目の学術大会を主催できた幸運に感謝です



第67回春季日本歯周病学会
学術大会 大会長
高橋慶壮

元日に発生した能登半島地震、翌日の羽田空港における飛行機事故と、年初から災難が続きました。まずもって、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

令和6(2024)年5月24日(金)、25日(土)の2日間にわたり、第67回春季日本歯周病学会学術大会をビッグパレットふくしま(福島県郡山市)において開催いたします。

1988年10月に第31回秋季学術大会(郡山市)に初参加してから36年間、本学会に関われたことは大学人としての大きな喜びです。本学会に所属することでたくさんの学術活動に参加できました。研究面では、主に宿主防御機能、サイトカインの関与、リスク因子、歯周炎の進行の複雑系研究およびインプラント周囲疾患の病態研究を行いました。どれも明確な結論を得られていませんが、科学は真理ではなく「最新の仮説の集まり」にすぎないという考えを拠る所に、歯周病学のパラダイムシフトを俯瞰しつつ活動してきました。

一方、組織と個人の関係は常に考えさせられるテーマです。「阿片王」(佐野真一、新潮文庫)の主人公、

里見 甫は「人は組織を作るが組織は人を作らない」と述べています。組織に属するだけでは個人の成長は期待できないでしょう。

今大会のテーマは「歯周病の精密および個別化医療」です。第63回春季大会のテーマ「歯周病学のプロフェッショナルリズム～歯周治療の実践知と科学知の融合を目指して」を踏まえ、「マスの医療」から「個の医療」への転換および個性差に基づく医療が模索される現今、歯周治療の個別化医療について考える機会になれば幸いです。第63回大会の実行委員長、故大島光宏先生はシンポジウムIで「歯周炎のプレジジョン・メディスンに向けて」を講演されました。「Precision medicine」の定義はさまざまですが、概念的あるいは実践的立場から現在と未来の「歯周病の精密医療」を皆様と考えたいと思います。

歯周病学および歯周治療学の最重要課題は、患者の歯周病を治療して進行を止めること、疾患の予防を推進することだと考えます。そのため、今回の学術大会では優れた臨床家の講演を多数企画しました。歯周治療のオプションは、過去30年間に大幅に増えています。私自身、歯周病患者の口腔インプラント治療に習熟することで臨床が大きく変わりました。シンポジウムIIIでは、重度慢性歯周炎患者の口腔機能回復治療(歯周補綴とインプラント補綴)についてご報告します。

福島の復興はまだ道半ばですが、コロナ禍が過ぎ現地参加が可能になりました。皆様のご参加をどうぞよろしくお願い申し上げます。

追悼 西原迪彦 先生



元日本臨床歯周病学会理事長で日本歯周病学会評議員を務められた西原迪彦先生（福岡市開業）が2023年11月に逝去されました。享年76歳でした。

西原先生と私は九州大学の同窓です。西原先生は開業医として、私は大学人として道は違いましたが、毎年、全国各地で開催される歯周病学会学術大会で顔を合わせた際に、弱冠30代だった私に「永田君、徳島でよく頑張っているね」と励ましてくれたのを機に親しい交流が始まったように記憶しています。西原先生は船越栄次先生（福岡市開業、元日本臨床歯周病学会理事長）の下で歯周治療の研鑽を積み、特に再生療法について地道な治療を遂行されておりました。私が教授に昇進後、2006年には徳島まで来てくれて、教室の同門会でエムドゲイン治療の利点欠点について多くの症例を提示してもらいました。近年はリグロスの臨床応用に積極的に協力していただいたと聞いています。

偶然ですが、2013年に私が日本歯周病学会理事長に就任したのと期を合わせて、西原先生は日本臨床歯周病学会理事長に就任され、西原先生との濃密な2年間が始まりました。写真は「日本歯周病学会・日本臨床歯周病学会 友好協定調印式」の様子です。当時、両学会は先輩方の努力によりアメリカ歯周病学会の共同開催や国内での専門医認証のための活動が円滑に推進され、良好な関係が築かれていました。そのような経緯のなか、両学会の友好協定が西原先生と私が署名して締結されたのは、縁があつての結果なのかもしれません。2013年9月のフィラデルフィアでのアメリカ歯周病学会では、快晴の街を二人で元気に歩き廻ってフィ

ラデルフィア美術館で名画を鑑賞したこと、2014年8月は、宮崎県都城市での市民講座（西原先生と私が演者）の前日に暴風雨に遭遇しながらも当日は台風一過で晴れやかに開催できたこと、2015年2月は、極寒のシカゴでアメリカ歯周病学会と両学会の関係者による学会プログラム選定会議（写真）に参加し、2日間英語づけで大いに疲れたことなど、濃密な2年間の思い出は尽きません。私が退職して郷里福岡に戻ってからもときどき居酒屋で飲食する機会がありましたが、2023年7月に会食したのが最後となりました。

葬儀には遠方から来られた方々もおられ、西原先生が広い人的交流のなかで多くの人たちに慕われていたことを実感しました。今は故人のご冥福を祈るばかりです。合掌。

徳島大学名誉教授 永田俊彦



第 67 回秋季日本歯周病学会学術大会開催のご案内

令和 6 (2024) 年 10 月 4 日 (金), 5 日 (土) の 2 日間 にわたり, 第 67 回秋季日本歯周病学会学術大会を札幌コンベンションセンター (札幌市) において開催いたします。2019 年以降は, 新型コロナウイルスによるパンデミックのため学術大会が Web 開催となったり, 現地参加の人数制限が行われたりするなど, 制限が続いてきましたが, 本大会では 2019 年コロナ以前の状態と同じく, 人数制限なく希望者は全員現地参加できるように準備を進めております。

テーマは「歯周病への新たな挑戦」とし, これまであまり注目を集めてこなかった問題に焦点を当て, 歯周病の多様性に対して改めて認識を深めるきっかけになればよいと考えています。特別講演では, 北海道大学高齢者歯科学教室の山崎 裕先生に難治性歯肉炎について, 口腔内科学的な立場から講演を行っていただきます。歯周病はプラークコントロールをはじめとする歯周基本治療によりほとんどが改善に向かいますが, プラークとは関連しない歯肉炎患者もわずかではあるものの歯周病専門医を受診しており, 皮膚科疾患として診断が下されない場合には, 治療に苦慮することが少なくありません。

また, 高齢者の歯周病が増加し, ささまざまな全身疾患との関連, 健康寿命との関連が報告されていますが, 高齢者では認知機能が低下して十分なプラークコントロールが行えなくなってきました。今後さらにこのような患者は増加すると考えられ, 高齢者の歯周病をいかにコントロールするかがますます重要になっていくと考えられます。しかし, その具体的な手法についてはあまりにも情報が少ないのが現状です。そこで, 認知機能の低下と歯周病について, 東京都健康長寿医療センター研究所の枝広あや子先生に講演を行っていただきます。

低フォスファターゼ症は遺伝性の骨系統疾患で, セメント質の形成不全のために歯根と骨との結合が脆弱となり, 乳歯が早期に脱落するとされてきました。しかし, ささまざまなタイプがあり成人になって発症する症例や, 歯のみに症状を示す症例もあります。このような症例では永久歯も歯周組織破壊が進行しやすく, 慎重な管理が必要と考えられています。歯周病に携わる者として, 低フォスファターゼ症についての理解を深めておくことも重要と考え, 大阪大学小児歯科学講

座の仲野和彦先生に講演を行っていただくことにしました。

シンポジウムでは, 最近注目され始めたセメント質剥離破折をテーマとして企画しています。セメント質剥離破折は急速に歯周組織破壊を生じ, その病態は歯周炎と似ていることが多く, 鑑別が難しいこともあります。その診断や治療法については, まだ症例報告の集積というのが現状であり, 原因も不明確なため, 今後治療法を体系化する端緒となればと考えています。シンポジストには, 日本歯周病学会理事でもある水上歯科クリニック (福岡県) の水上哲也先生, 二期会歯科クリニック (北海道) の佐藤 禎先生, 北海道大学口腔機能解剖学教室の山本恒之先生の 3 名に, 診断から治療法, 再生療法の有効性, セメント質と象牙質との結合様式などについて議論していただく予定です。

また, 2023 年から歯周組織再生医学優秀論文賞の表彰が始まります。歯周組織再生は歯周治療の大きな目標の一つであり, 今後の発展が望まれる分野でもあり, 多くの会員が興味をもつところですので, そこで第 1 回の受賞者 2 名の先生に, その内容について講演を行っていただく予定です。

歯科衛生士シンポジウムでは, 洗口剤をテーマに取り上げました。洗口剤は今後も需要が増えると予測されており, 歯科衛生士の関心も高い分野です。2022 年秋季学術大会 (長崎) では, 鶴見大学の五味一博先生から洗口剤についての歯科衛生士教育講演がありましたが, 今大会では, それぞれの歯科衛生士が実際に洗口剤をどのような考えで, どのような症例に使用しているのかを議論することで, さらに理解を深めていただく予定です。

日本歯科専門医機構による歯周病専門医を取得しようとしている先生は, 毎年 2 単位の取得が必要で, かつ 5 年間で 5 項目の研修すべてを網羅している必要があります。5 項目を網羅していないために専門医機構の専門医を取得できないという事態をできるだけ避けるために, 最近行われていない項目, 頻度の低かった項目である, 患者・医療関係者関係の構築と医療関連法規・医療経済の 2 項目に, 医療倫理を加えて 3 つの講演を行う予定です。今のところ, 1 つの学術大会で 3 講演を受講しても 2 講演分しか認められないことになっておりますので, ご自分が過去にどの研修を受講

しているのか十分に確認し、必要な講演を選んでいただくようお願いいたします。

また、認定医・専門医教育講演、歯科衛生士教育講演、ランチョンセミナー、スイーツセミナー、一般口演、ポスター、臨床ポスター、企業展示などの他に、今大会から歯学部学生によるポスター発表が加わるようになっていきます。

新型コロナ以来、オンデマンド配信が定番となっておりますが、本大会においても2024年11月5日(火)～12月4日(水)の配信を予定しています。見逃してしまった演題があったり、現地参加できなかつたりという会員の皆様にはご視聴いただきたいと思っております。

札幌での日本歯周病学会学術大会の開催は12年ぶりとなります。北海道の10月初旬はすでに秋も深まっており、大雪山系の旭岳や十勝岳などでは壮大な紅葉が見ごろとなっております。畑では小麦が金色に輝き、秋の花が美しい丘を彩ります。北海道には200カ所以上の温泉地があり、源泉数は2,000を超えています。天高気清のなかで露天風呂から紅葉を眺めると、大自然の息吹を感じることができます。食の宝庫である北海道の海の幸・山の幸が堪能できる季節でもあり、ズワイガニ、イクラ、ホタテ、北寄貝などが旬を迎え、秋刀魚も生で味わえ、エゾシカが脂肪を蓄え始めておいしくなります。日本の農地面積の1/4を占める広大な農地では収穫の最盛期となり、涼しくなつておいしくなり始めた牛乳を原料とした乳製品は格別です。北海道はスイーツ王国でもあります。

スケジュールがタイトな会員の皆様にご利用いただけるように、ポスター印刷・掲示代行サービスも継続して行う予定です。唯一危惧されることとして、中華人民共和国で10月1～7日が連休となっているため、札幌にも多くの観光客が訪れると予想されています。宿泊先は早めに予約されることをお勧めします。食事も予約なしでは難しくなることと思っておりますので、スケジュールは早めにご検討いただきますようお願いいたします。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

大会長 菅谷 勉

1. 会期

令和6(2024)年10月4日(金)、5日(土)

2. 会場

札幌コンベンションセンター

〒003-0006 北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

3. テーマ

歯周病への新たなる挑戦

4. 事前参加登録期間および参加登録費

令和6(2024)年5月29日(水)正午より

令和6(2024)年7月19日(金)正午まで

	事前参加登録	当日参加登録
正会員(歯科医師・医師ほか)	5,000円	8,000円
準会員(上記以外)	3,000円	6,000円
非会員(歯科医師・医師)	10,000円	13,000円
非会員(上記以外)	5,000円	8,000円
学生(歯学部・専門学校生)	1,000円	1,000円

5. 演題申込および抄録登録期間

令和6(2024)年5月7日(火)正午より

令和6(2024)年6月6日(木)正午まで

第67回秋季日本歯周病学会学術大会 事務局
北海道大学大学院歯学研究院歯周病学教室
大会準備委員長：下地伸司

〒060-8586 札幌市北区北13条西7丁目

TEL：011-706-4266 FAX：011-706-4343

第67回秋季日本歯周病学会学術大会 運営事務局
(株)日本旅行大阪法人営業統括部 MICE 営業部内

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-1

山口玄ビル6階

TEL：06-4256-3869 FAX：06-6204-1763

E-mail：jspf67@nta.co.jp



第 67 回秋季日本歯周病学会学術大会臨床ポスター (認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター) 発表申込のご案内

学術大会における臨床ポスター（認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター）発表の演題募集は、一般演題とは別になります。受付は学術大会ホームページからのみになりますのでご注意ください。以下に概要を記します。

演題申し込みおよび抄録作成方法などの詳細は学術大会 Web サイト上で公開予定です。認定医・専門医と歯科衛生士症例のポスターカテゴリーごとに必ずご確認ください。

1. 演題発表資格

いずれのカテゴリーとも、筆頭発表者が学会認定資格（認定医・専門医・指導医あるいは認定歯科衛生士）を有している必要はありませんが、筆頭発表者と発表における責任者は本学会会員に限ります。また、本学術大会における筆頭発表は 1 名 1 演題までといたします。詳細は学術大会ホームページをご参照ください。

2. 演題申込および抄録登録期間

令和 6（2024）年 5 月 7 日（火）正午より

令和 6（2024）年 6 月 6 日（木）正午まで

【注意事項】

A) 臨床ポスター、歯科衛生士ポスターは症例発表の場で、臨床研究の発表は認めておりません。臨床研究に該当する場合、一般演題での登録をお願いします。

B) 「認定医・専門医申請における医薬品・機器の使用に関する考え方（薬機使用の考え方）」

https://www.perio.jp/member/certification/recognition/file/new/info_220602.pdf

「学術大会・臨床ポスター応募症例チェックリスト（学術大会ポスターチェックリスト）」

https://www.perio.jp/member/award/file/special/poster_checklist.pdf

を遵守いただきますようお願いいたします。



薬機使用の
考え方



ポスター
チェックリスト

C) 登録期間終了日はアクセス集中によるエントリー遅延・不具合が起りやすいので、お早めに登録をお済ませください。

D) 演題申込時には学術大会ホームページ記載の留

意事項を必ずご確認のうえ応募くださいますようご案内申し上げます。上記事項を逸脱する行為および演題内容については、発表をお断りすることがあります。

3. 臨床ポスター発表の特典

臨床ポスター発表を行うと、筆頭発表者に対して資格申請・更新に必要な所定の研修単位が付与されます（専門医の申請時、および認定医と専門医の更新時の生涯研修単位における業績発表単位は 10 単位、認定歯科衛生士の申請時・更新時の生涯研修単位における業績発表単位は 10 単位）。なお、感謝状の授与方法は第 65 回春季学術大会時より「学術大会終了後郵送」に変更となっております。

4. 臨床・症例ポスターの発表様式

パネルサイズは高さ 210 cm×幅 90 cm です。表示形式および表記様式、ポスター討論についての留意事項を学術大会ホームページにてご案内していますのでご確認ください。**演題番号の個所や顔写真の掲示場所、「同意や承認」（手術の患者同意あり、発表の患者同意あり、未承認薬等不必要の表示、利益相反状態の開示（コメント））の記載場所、ポスター討論の時間等細かく規定されていますので必ずご確認ください。**印刷前に PDF 形式で発表データを提出いただき、認定 3 委員会・大会校により、事前チェックを行います。なお、演題登録後に抄録の変更や討論時の発表者交代は認められません。問題がございましたら運営事務局にご連絡ください。

5. ポスター賞について

認定医・専門医優秀臨床ポスター賞は選考対象となることを希望された発表が、ベストデンタルハイジニスト賞は歯科衛生士ポスター発表として演題登録いただいた発表のうち症例発表が選考対象となります（ただし、留意事項を遵守されていない場合は対象外）。受賞発表および表彰は次回学術大会（第 68 回春季日本歯周病学会学術大会）にて行います。その際、受賞ポスターは再掲しますので、発表ポスターの保管（データ版・紙版とも）にご協力願います。

専門医委員会委員長 吉成伸夫

認定医委員会委員長 仲谷 寛

歯科衛生士関連委員会委員長 荒川真一

専門医・指導医・認定医および認定歯科衛生士制度についてのお知らせ

日本歯周病学会では、本年度の認定医・専門医・指導医および認定歯科衛生士の申請と更新、ならびにその研修施設および学会認定研修会の申請を受け付けます。各資格についてのタイムスケジュールは以下のとおりです。

1. 専門医・指導医申請（第71回専門医・指導医認定審査）および各資格の更新

令和6（2024）年7月1日（月）：受付開始

令和6（2024）年7月19日（金）：締切（消印有効）

令和6（2024）年8月9日（金）：申請および更新に関する書類審査会開催

令和6（2024）年9月22日（日）：（専門医申請者のみ）専門医認定試験（ケースプレゼンテーション、口頭試問、ならびに筆記試験）開催

※第68回専門医認定審査より筆記試験が導入されました。書類審査合格通知時に詳細をご案内します。

令和6（2024）年10月3日（木）：各資格申請・更新合格者を理事会で承認

令和6（2024）年10月4日（金）：第67回秋季学術大会（北海道）時に合格発表

令和6（2024）年12月頃：専門医・指導医認定証発行*

※日本歯科専門医機構発行の歯周病専門医認定書は令和6（2024）年度末に行われる運用審査承認後に発行予定

2. 認定医申請（第32回認定医認定審査）および更新

令和6（2024）年7月22日（月）：受付開始

令和6（2024）年8月9日（金）：締切（消印有効）

令和6（2024）年8月30日（金）：申請および更新に関する書類審査会開催

令和6（2024）年10月3日（木）：（申請者のみ）筆記試験会場：京王プラザホテル札幌

申請・更新合格者を理事会で承認

令和6（2024）年10月4日（金）：第67回秋季学術大会（北海道）時に合格発表

令和6（2024）年12月頃：認定医認定証発行

⇒平成30（2018）年1月1日より、新規認定医申請の際に、本学会が行う倫理に関する講演の受講（1回以上）が義務付けられました。

3. 認定歯科衛生士申請（第39回認定歯科衛生士認定

審査）および更新

令和6（2024）年6月10日（月）：受付開始

令和6（2024）年6月28日（金）：締切（消印有効）

令和6（2024）年7月21日（日）：申請および更新に関する書類審査会開催

令和6（2024）年9月1日（日）：（申請者のみ）ケースプレゼンテーション

令和6（2024）年10月3日（木）：申請・更新合格者を理事会で承認

令和6（2024）年10月4日（金）：第67回秋季学術大会（北海道）時に合格発表

令和6（2024）年12月頃：認定歯科衛生士認定証発行・認定歯科衛生士襟章送付

以上の各資格の申請・更新手続き、申請書類や規則等については、学会ホームページ（<https://www.perio.jp>）をご確認ください。ホームページに記載された方法に準拠しない申請・更新手続きは無効となります。

なお、規則・細則は改定されることがありますので、ホームページにおける申請受付前1カ月以内の最新の記載内容を確認してください。

研修施設申請・更新のお知らせ

認定医、専門医の研修施設を認定する制度です。申請・更新受付とも期間は令和6（2024）年7月1日（月）～令和6（2024）年7月19日（金）（消印有効）です。申請・更新手続きについては、学会ホームページ（<https://www.perio.jp>）に記載してありますので、これに従い手続きを行ってください。

認定医、専門医・指導医更新に関わる研修単位を取得できる専門医委員会が認めた歯周病に関する学会および研修会申請についてのお知らせ

歯周病学に関する専門的研修に寄与する学会、指導医等主催による任意の研修会について、研修単位取得対象研修会として認定する制度です。申請期間は令和6（2024）年7月1日（月）～令和6（2024）年7月19日（金）（消印有効）です。手続きの方法等を学会ホームページ（<https://www.perio.jp>）に記載しておりますので、これに従い手続きを行ってください。令和6（2024）年9月末頃までに専門医委員会の審査による認定の諾否を通知いたします。

学生会員制度，学部学生優秀発表賞，教育賞コンテンツ部門の創設について

令和5(2023)年度秋季総会にて学生会員制度，学部学生優秀発表賞，教育賞コンテンツ部門の創設が承認されましたので，概要をご案内いたします。ご不明な点がございましたら，学会事務局へお問い合わせください。

1. 学生会員制度

歯周病関連の研究を行っている大学の学部，学科，ならびに専門学校等に在籍する学生を対象とした会員区分：学生会員制度を令和6(2024)年度より創設しました。学術大会参加登録費区分にも「学生（大学院生は除く）」の設定(1,000円)がございますので，積極的なご案内をお願いいたします。

会員種別	入会金	年会費	抄録集送付	学術大会発表	論文投稿	役員・認定資格等	総会議決権
学生会員 (学部学生)	0円	2,000円	○	○	○	×	×

※入会時，ならびに毎年度末に在籍証明書類を提出いただきます。

2. 学部学生優秀発表賞 (Nakanishi Award)

学術大会における学生の参加および優秀な発表を奨励し，本学会のさらなる活性化を図るために創設されました。本ニュースレター「各賞・研究助成・若手合宿研修のご案内」に応募方法詳細が掲載されていますので，奮っての応募をお待ちしております。

発表形式：秋季学術大会「学部学生ポスター」(一般ポスターに準じて設定)発表，選考委員による質疑応答

対象者：歯周病関連の研究を行っている学部(学科，専門学校を含む)の学生(大学院生は除く)。本学会の学生会員で対象となる学術大会における採択演題の筆頭発表者。

受賞数：各年度1名を原則とする。

表彰：受賞者には賞状ならびに副賞を授与。株式

会社ナカニシより副賞として Nakanishi Award を授与予定

募集時期：毎年6月頃

3. 教育賞コンテンツ部門 (YDM Award)

教育賞の活性化のため，従来の教育の独創的な取り組みに対する賞に加え，教育賞にコンテンツ部門が創設されました。

表彰対象：歯周病学臨床教育の向上が期待される臨床動画およびその担当者

受賞数：各年度1コンテンツを原則とする。

表彰：受賞者には賞状ならびに副賞を授与。株式会社 YDM より副賞として YDM Award を授与予定

募集時期：毎年11～12月頃

学会プロモーション活動について

国民に対する歯周病啓発活動について、進捗状況をお伝えします。

1. 国民向け新ホームページ「PerioBook」の作成

公開が大幅に遅延していることをお詫び申し上げます。TOP ページは以下のように予定しています。



2. 国民向け歯周病関連のPR動画の作成

昨年11月8日(いい歯の日)に「にゃんかむちゅ〜シーズン2」をYouTube上で公開しました。

前作に続き、キャラクターデザインはカナヘイ様(イラストレーター・漫画家)が手掛け、ネコの「にゃんちゃん」、ネズミの「チュウ太」などを声優・花江夏樹様が演じ、新キャラのネズミの「マウマウ」を声優・小野賢章様が演じております。

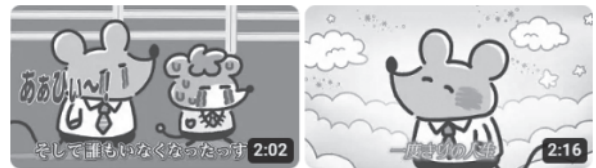
前作同様、歯周病予防を啓発するために制作したショートアニメです。恋のような友情のような…ネコとネズミのハートフルストーリーを楽しみながら歯周病予防について知ることができる設定ですので、待合室で放映する、学校歯科健診時に放映するなど、適宜ご活用いただければ幸いです。

また、来年度も11月のいい歯の日(11月8日)に向けて、日本臨床歯周病学会と共同で「にゃんかむちゅ〜シーズン3(仮称)」の制作・公開を予定しております。次号のニュースレターで進行状況をご報告申し上げますので、ご期待ください。



【にゃんかむちゅ〜】シーズン2 #1 肉球一つ、さわらせ...

【にゃんかむちゅ〜】シーズン2 #2 ニャーはどうしてネ...



【にゃんかむちゅ〜】シーズン2 #3 そして誰もいなくな...

【にゃんかむちゅ〜】シーズン2 #4 一度きりの人生ダレ...



【にゃんかむちゅ〜】シーズン2 #5 なんだか、ニャーの...



にゃんかむちゅー
公式 YouTube
チャンネル

日本歯科専門医機構報告

現時点までの専門医に関する対応について、会員各位にご報告します。流動的な状況もございますので、今後、取り扱い等の変更が発生する可能性があることをあらかじめご了承ください。これからも、会員各位に対しましてはタイムリーに情報を発信させていただきますので、会員情報の登録内容のご確認、ならびに電子メールご登録をお願いいたします。

口腔保健協会会員システム「OHASYS」

<https://ohasys.net/login>

※会員番号の確認はお手元の

会員カードをご参照ください。



1. 日本歯科専門医機構「共通研修」について

令和6(2024)年度より、専門医新規・更新の手続きに際し、『①医療倫理、②患者・医療者関係の構築、③医療安全、④院内感染対策、⑤医療関連法規・医療経済』の受講歴が各1単位以上かつ、5項目を含む共通研修単位を毎年度2単位、計10単位取得の義務付けが本施行となります。

専門医(含む、指導医)新規・更新手続きに際しては、学会ホームページに掲載しているフローチャートを利用し、現時点のご自身の共通研修単位をご確認ください。

専門医「共通研修」確認用フロー
チャート(新規・更新共通)

https://www.perio.jp/member/certification/special/application_jdsb.shtml



本学会では会員負担を考慮し、春季・秋季学術大会内で「共通研修」に認定された講演を実施し、本学会学術大会への参加(現地・オンライン問わず)のみでカリキュラムを満たせるよう講演プログラムを編成しております。今後の予定としましては、

第67回春季学術大会：③医療安全(医療安全講演)

第67回秋季学術大会：①医療倫理(倫理講演)

この他に大会校企画講演を予定
を開催予定です。専門医資格の取得および更新をお考えの先生におかれましては、必要とされる「共通研修」

の単位を確実に取得するために、各学術大会へ参加(Web参加も可能)のうえ、共通研修を受講してください。

また、2020～2022年度の共通研修受講単位不足者への対応ですが、移行申請の混乱状況をみて機構が判断しています。今後、再度の追加開催があるかは不明ですが、本学会としては、時期をみて要望していくことを検討しています。

2. 専門医の認定証発行について

2019年度以降に新規・更新認定されました専門医の先生方にはすでにお送りした日本歯周病学会「歯周病専門医認定証」(学会認定証)のほかに、日本歯科専門医機構より「歯周病専門医認定証」(機構認定証)が送付されます。

従来から発行しております日本歯周病学会「歯周病専門医認定証(学会認定証)」「歯周病専門医記念の楯(希望者のみ)」は今後も発行いたします。日本歯科専門医機構から発行された認定証の内容に関する質問は、日本歯周病学会事務局までご連絡ください。

3. 令和6(2024)年度以降における機構認証に関わる 受益者負担(経費負担)について

令和6(2024)年度以降の専門医新規更新料/登録料に日本歯科専門医機構審査料として11,000円を上乗せし、受益者負担をお願いさせていただきます。

4. 新規認定資格合格者の掲示について

令和4(2022)年度の運用審査にて機構より、新規認定資格合格者の掲示を国民向けにも行うよう指導がなされました。昨春の認定資格合格者(施設)より、従来の学術大会会場内で掲示されている合格者リストを学会ホームページ内「ピックアップ」にて公開しております。

5. その他

機構より、専門医研修施設の新規申請・更新時における指導医の勤務実態・診療実績、所属研修生の状況の提示が今後求められる可能性があります。その対応に関しては申請・更新施設になるべくご負担にならない方法を本学会内で検討中です。

第 110 回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会・日本臨床歯周病学会 2024 大会のご案内

第 110 回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会・日本臨床歯周病学会 2024 大会（AAP-JSP/JACP2024 サンディエゴ大会）が、下記のとおり開催されます。

開催日：令和 6（2024）年 10 月 31 日（木）～11 月 3 日（日）

会場：San Diego Convention Center, San Diego, CA, USA

日本からも多くの先生方が演者として採択されております。

参加登録は、JSP/JACP 会員専用登録サイトで行ってください。詳しい登録方法は、日本歯周病学会ホームページ（<https://www.perio.jp/> AAP-JSP/JACP 大

会バナー）でご案内中です。順次更新される当該ページの最新情報にご注目ください。また、同大会期間中に JSP/JACP ポスターセッションも下記カテゴリで開催され、優秀な発表に両学会から表彰（JSP/JACP ポスター賞）が行われます。

ポスターカテゴリー：General (basic research, clinical research), Case Report, Dental Hygiene (歯科衛生関連の症例報告および臨床研究)

皆様お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。

理事長 沼部幸博
国際交流委員会委員長 吉村篤利

令和 6（2024）年度 春季総会について

昨年度の秋季総会にて、総会通知方法を書面に加え「電磁的方法による」方法を追加する定款改正案が承認されたことを受けて、本学会の所管庁：東京都に届け出を行い、本年 1 月 4 日に認証されました。これを受けて、今後の総会開催通知は原則、電子メールとさせていただきますので、メールアドレスを登録されていない会員は口腔保健協会会員システム「OHA-SYS」より会員情報を更新願います。

<https://ohasys.net/login>

※会員番号の確認はお手元の会員カードをご参照ください。

なお、春季総会は以下日時で開催予定です。参加人数の把握のため、出欠を事前に回答願います。

※回答フォームは 5 月 13 日（月）頃より受付開始予定

日時 5 月 24 日（金）10：10～11：40

場所 ビッグパレットふくしま 多目的ホール B

議事事項：庶務報告、会計報告、各種委員会報告、その他
総会終了後、各賞表彰式実施



回答フォーム

第 26 期理事長選挙中間報告

来る令和 6（2024）年 5 月 23 日に開催される、第 67 回春季日本歯周病学会学術大会時の理事会において、次期理事長選出の選挙を行います。

理事長選挙管理委員会より、事前に理事長有資格者

の先生方に立候補の意思の確認をさせていただいたところ、下記の 3 名の先生が「理事長有資格者として理事会の議を経て選挙管理委員会に推薦される事」に同意していただきました。なお、所信表明をご執筆いた

だいております。

同意者が3名にとどまったため、評議員選挙での上位5名を決定する必要がなくなり、選挙は5月23日の第67回春季日本歯周病学会学術大会時の理事会での1段階選挙となります。

しかし、規定上の手続きにより、選挙の前に理事会において次期理事長有資格者3名を一括して選挙管理委員会に推薦いただく必要があります、持ち回り会議（郵送）によりご了承をいただきました。

結果といたしまして、選挙権を有する理事54名中54名のご返答をいただき、その全員に理事会よりの推薦として同意いただきましたのでご報告させていただきます。

定款37条の3分の2以上を満たしておりますので理事会（持ち回り会議）として成立し、第38条による

理事総数の過半数の同意も得られましたので正式に理事会承認とさせていただきます。

3名の「次期理事長有資格者」を選挙管理委員会より「次期理事長候補者」として令和6（2024）年5月23日に開催される、第67回春季日本歯周病学会学術大会時の理事会において報告させていただき、当日直接選挙が行われます。

記

次期理事長候補者：齋藤 淳，吉成伸夫，高柴正悟
（届出日順）

以上

理事長選挙管理委員会委員長 菅谷 勉

63rd KAP 参加報告

The 63rd General Session of KAP（韓国歯周病学会学術大会）が2023年10月21日、22日にソウルで開催されました。日本歯周病学会からは4名が参加され、1名がポスター発表を行いました。

The 64th General session of KAPは本年10月19日、20日にソウルまたは近郊で開催予定です。沼部理

事長の招待講演が予定されております。詳細が決まり次第、ご案内いたします。

皆様お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。

理事長 沼部幸博
国際交流委員会委員長 吉村篤利

各賞・研究助成・若手合宿研修・若手研究者の集いのご案内

各賞および企画の募集を下記のとおり行います。いずれも学会ホームページにて詳細をご確認ください。なお、企画調査研究助成募集は隔年での募集です。次回募集は令和7（2025）年になります。

申請期間：いずれも令和6（2024）年

4月15日（月）～6月14日（金）（1・2）

2月1日（木）～5月31日（金）※消印有効（3）

6月3日（月）～6月30日（日）（4・5）

申請書類提出用ユーザー名：JSP-2024（1・2・4・5）

申請方法：ホームページからの申請（1・2・4～7）、郵送（3）

1. 学術賞（LION Award：第24回、令和6（2024）年度）
令和5（2023）年度実績：採択数2/応募数6

本賞は、会員のうち歯周病学において継続して優れた業績を上げた研究者の功績を讃えることを目的に設けられました。副賞としてライオン株式会社のスポンサーシップを得ており、本賞（学術賞楯）のほかに副賞20万円と楯（LION Award）が贈られます。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。



<https://www.perio.jp/member/award/science.shtml>

2. シーズ育成若手奨励研究助成 (令和7 (2025) 年度)

令和6 (2024) 年度実績：採択数1/応募数4

本会では若手会員を対象とし、わが国における歯周病の研究・教育・医療および予防を推進することにつながるシーズ研究を奨励することを目的として、シーズ育成若手症例研究助成を制定しております。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。



<https://www.perio.jp/member/assist/>

3. 地域活動賞 (令和6 (2024) 年度)

令和5 (2023) 年度実績：採択数1/応募数2

日本歯周病学会地域活動賞は、歯周病の予防・治療を通して、地域住民の健康増進に寄与した優れた活動業績を上げられた団体を表彰することを目的として平成30 (2018) 年度に創設されました。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。



<https://www.perio.jp/member/award/regional.shtml>

4. 歯周組織再生医学優秀発表賞 (KAKEN Award : 令和6 (2024) 年度秋季学術大会発表)

令和5 (2023) 年度 (秋季) 実績：採択数2/応募数4

本賞は、日本歯周病学会各学術大会においてポスター発表された歯周組織再生に関する優れた研究 (臨床・基礎は問わない) および筆頭演者を表彰することを目的とし、令和5 (2023) 年度に創設されました。本賞は副賞として科研製薬株式会社のスポンサーシップを得ており、受賞者には本賞 (歯周組織再生医学優秀発表賞楯) のほかに、副賞 KAKEN Award (賞金5万円とトロフィー) が贈られます。学会ホームページの応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。



<https://www.perio.jp/member/award/presentation.shtml>

5. 【新設！】学部学生優秀発表賞 (Nakanishi Award : 令和6 (2024) 年度)

本賞は日本歯周病学会学術大会における学生の参加および優秀な発表を奨励し、本学会のさらなる活性化を図ることを目的とし、令和5 (2023) 年度に創設されました。本賞は副賞として株式会社ナカニシのスポンサーシップを得ており、受賞者には表彰状のほかに、副賞 Nakanishi Award (賞金5万円と表彰楯) が贈られます。学会ホームページの応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。



<https://www.perio.jp/member/award/student.shtml>

6. 若手合宿研修 (第10回, 令和6 (2024) 年度)

本研修会は、若手研究者のリサーチマインドをさらに活性化することを目的としております。特に海外留学経験者や現在留学中の先生方のお話を聞くことを主として、留学を本気で考えている先生から「研究留学ってなんだ?」と思われる先生まで、どなたでも参加可能となっています。他の大学に所属する同世代の先生と知り合いになるいい機会でもあります。研修形式は、秋季学術大会に合わせて開催される講演会と懇親会を含む1泊2日の合宿イベントで、お得な参加費 (宿泊費込み) でおいしいお話を聞きながら食事を楽しむスタイルです。詳細につきましては、秋季学術大会の演題募集時期に合わせて学会ホームページで通知いたします。

7. 若手研究者の集い (第57回, 令和6 (2024) 年度)

本集いは春季学術大会時に合わせて開催しており、会員であればどなたでも参加可能です。詳細につきましては4月以降、学会ホームページで通知いたします。

日時：令和6 (2024) 年5月23日 (木) [学術大会前日]
18:00~20:00 (予定)

場所：ビッグアイ (郡山市民プラザ)

演者：寺町順平先生 (岡山大学学術研究院医歯薬学域口腔機能解剖学分野・准教授)

演題：「骨破壊・進展の分子病態の解明と新規治療法の開発」

歯科衛生士教育講演・臨床研修会のご案内

教育講演

今年度の開催予定は以下のとおりです。詳細はホームページで通知いたします。

<https://www.perio.jp/member/>

- ・奈良県 日時：令和6（2024）年7月28日（日）
会場：Web開催
- ・山形県 日時：令和6（2024）年10～11月の日曜日
会場：山形県歯科医師会館

臨床研修会

今年度の開催予定は以下のとおりです。詳細はホームページで通知いたします。

<https://www.perio.jp/member/>

- ・愛媛県 日時：令和6（2024）年6月2日（日）
10：30～16：00
会場：愛媛県歯科医師会館
- ・青森県 日時・場所は調整中

日本歯周病学会第3回関東地区（群馬）臨床研修会報告

臨床研修会は、「各地域の歯周病の予防ならびにその治療の向上を通じて、国民の口腔保健に寄与する」目的を達成するための学会活動の一つとして行われる地方研修会です。第3回関東地区臨床研修会は当初、2020年4月に計画されておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け延期となっていました。一時は開催自体が危ぶまれましたが、状況が落ち着きをみせてきたことを受け、3年遅れて開催することができました。通常よりも短い準備期間にもかかわらず、滞りなく準備・運営を行うことができたのは、群馬県歯科医師会の村山利之会長や同会学術部の先生方、事業課の方々の献身的なご協力があったのものでした。特に本研修会の広報に際しては、歯科医師会の先生方のほか、協賛企業の皆様にも多大なご協力をいただきました。事前申込予定日前に参加希望者が募集定員を超え、一部の皆様にはお断りをしなければならぬほどでした。開催当日の参加者は101名（歯科医師：64名、歯科衛生士：37名）にのぼり、群馬県内のみならず、関東近県や大阪などから参加された方もいらっしゃいました。

当日は、大会長である村山利之群馬県歯科医師会会長、および沼部幸博日本歯周病学会理事長による開会のご挨拶に始まり、本研究会のメインテーマである「歯周治療の基本と最前線」を基調として講演が行われました。岩田隆紀先生の講演では、各種歯周組織再生療法に関する作用機序や臨床における使用法・治療成績のほか、現在開発が進んでいる組織工学を応用した再生療法の最新研究について紹介されました。続く青木

章先生からは、各波長の歯科用レーザーの特性とその臨床的効果について、特にEr：YAGレーザーを中心に研究報告やさまざまな臨床応用例が提示されました。また多部田康一先生からは歯周病の病因論（細菌と宿主応答）に関して最新の知見を交えた情報のアップデートがなされ、歯周治療の基本について改めて考える機会が提供されるとともに、学会ホームページで公開されているガイドラインや各種研修スライドが紹介されました。歯科衛生士教育講演では、新田浩先生が超音波スケーラーの原理・特徴などの知識を整理していただくとともに、患者さんに負担の少ない使用方法について多くの動画を用いながらわかりやすく解説されました。ランチョンセミナーは科研製薬株式会社との共催で行われ、臼井彦彦先生より歯周病の新分類に関しポイントを押さえた解説がなされるとともに、新分類に基づく診断が実際の治療にどのように反映されたかを症例を通じてお話いただきました。非常にタイトな講演スケジュールでしたが、休憩時間にはフロアで議論が行われ、また企業展示・関連書籍の予約販売ブースなどを熱心に見てまわる参加者の姿も多くみられました。

最後に多部田康一臨床研修委員会委員長のご挨拶をいただき、盛会のうちに閉会となりました。ご参加の皆様をはじめ、群馬県歯科医師会関係者の皆様、ご協賛いただいた企業各社様、そして運営スタッフの皆様にご挨拶申し上げます。

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
生涯口腔保健衛生学分野 竹内康雄



各賞・助成選考結果

シーズ育成若手奨励研究助成（令和5（2023）年度）

本池総太

（京都大学 iPS 細胞研究所臨床応用研究部門池谷 真研究室）

「ヒト iPS 細胞由来第一咽頭弓外胚葉性間葉集塊の咽頭弓内パターンニングを応用した新規歯周組織再生治療法の開発」



企画調査研究助成（令和6-7（2024-25）年度）

水谷幸嗣

（東京医科歯科大学病院歯周病科）

「歯周治療が冠動脈疾患患者の術後経過にもたらす効果の探索—横断および前向き研究—」



第23回学術賞 (LION Award : 令和5(2023)年度)

高橋直紀

(新潟大学大学院医歯学総合研究科歯周診断・再建学分野)
「歯肉上皮バリア機能制御を基軸とした新規抗歯周病薬開発の基礎的研究」



岩山智明

(大阪大学大学院歯学研究科口腔治療学講座)
「歯根膜による歯周組織の恒常性機能維持機構の理解」



第21回会誌賞 (MORITA Award : 令和4(2022)年度)

基礎分野 「アラントイン、グリチルリチン酸ジカリウム、アズレンスルホン酸ナトリウム水和物は糖化を抑制することで最終糖化産物による歯肉炎症を抑制する (*in vitro*)」64巻(1):25-35, 2022

柚鳥眞里, 本山実穂, 山口継乃,
木村光夫, 西永英司
筆頭著者所属: ライオン株式会社研究開発本部



臨床分野 「歯周炎新分類に基づく診断とメンテナンス期の歯周炎に起因した、およびそれ以外の原因による歯の喪失発生率との関連性」64巻(4):142-157, 2022

島袋善夫, 竹立匡秀, 沢田啓吾,
小清水まみ, 品田和子, 浅井晴美,
溝口あゆみ, 林 裕子,
塚本明奈, 宮後 緑, 西原風香,
西端隆子, 島袋美千代,
岩山智明, 藤原千春, 村上伸也



筆頭著者所属: 大阪大学大学院歯学研究科口腔分子免疫制御学講座(口腔治療学教室)/しまぶくろ歯科医院

優秀臨床ポスター賞
(Quintessence Award : 第66回春季学術大会)

最優秀賞ポスター賞

前川祥吾

(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯周病学分野)
「広汎型侵襲性歯周炎 Stage III Grade C 患者に歯周組織再生療法を行なった一症例」



優秀賞ポスター賞

大森一弘

(岡山大学学術研究院医歯薬学域歯周病態学分野)
「特発性歯肉線維腫症に対して医科歯科連携で包括的に対応した症例の病態考察」



ベストデンタルハイジニスト賞
(TAKARA BELMONT Award : 第66回春季学術大会)

春日早紀

(徳島・川原歯科医院)
「広汎型慢性歯周炎の16年経過症例」



令和6(2024)年度功労賞

株式会社マイクロテック
白水貿易株式会社

令和6(2024)年度地域活動賞

一般社団法人日立歯科医師会/株式会社日立製作所日立健康管理センタ
「歯科検診-歯科クリニック地域連携モデル(日立モデル)の実際」

第9回若手合宿研修開催報告

若手合宿研修は、日本歯周病学会の若手研究者を対象として秋季学術大会の開催に併せて実施しており、今回が第9回となりました。本研修は海外留学の促進、若手研究者間の交流、ならびにリサーチマインドの活性化を目的とし、学会理事長の基調講演や留学経験のある先生方の経験談などをご講演いただきました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、第7回から第9回では日帰りでのセミナー研修という形で開催しましたが、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、今年度は本来の宿泊を伴う研修会として、国民宿舎くじゃく荘にて開催いたしました。

まず初めに、日本歯周病学会理事長の沼部幸博教授に基調講演をしていただきました。留学時の体験談など、普段では聞けないようなエピソードをお話していただきました。次に、日本歯周病学会の会員で留学経験のある九州歯科大学 新城尊徳先生（留学先：Joslin Diabetes Center）と大阪大学 阪下裕美先生（留学先：Oklahoma Medical Research Foundation）から、留学先の紹介、留学に至った経緯や準備に必要なこと、現在の研究環境や家族を取り巻く生活環境、さらには経済事情まで、多岐にわたる話題をご提供いただきました（写真1）。最後に、サンスター財団の高世尚子様より、財団の留学派遣についてご説明いただきました。

研修会後には感染管理に十分留意し、懇親会を行いました。今回は研修会と懇親会に村上伸也教授（大阪大学）、高柴正悟教授（岡山大学）、水野智仁教授（広島大学）もご参加いただき、貴重なお話を伺うことができ、参加者が交流を図れるよい機会となりました（写真2、3）。

研修後に行ったアンケート調査では、「講演後、あなたの留学への思いは」という質問に対し、「強くなった」との意見が多数寄せられました。来年度以降も引き続き、学会の若手研究者の皆様にとって有益なコンテンツを企画して参りますので、奮ってのご参加をお待ちしております。

最後になりましたが、参加された先生方のご協力により、安全に開催することができました。本研修会の企画・開催にあたりまして、学会あり方委員会委員長の齋藤 淳先生、ご講演いただきました沼部理事長、新城先生、阪下先生、ご参加いただきました村上教授、高柴教授、水野教授、ワーキンググループの先生方に感謝申し上げます。

若手合宿研修ワーキンググループ 2023年度幹事
五十嵐（武内）寛子（日本歯科大学）



写真1



写真2



写真3

次回幹事よりお知らせ：次回「若手合宿研修」は、第67回秋季日本歯周病学会学術大会に併せて開催いたします。北海道札幌の地で、若手の先生方同士が知り合い、留学について知見を広げられるような研修を

予定しています。留学や研究に興味のある若手研究者の皆さんのご参加をお待ちしております。

2024年度幹事 菊池 毅（愛知学院大学）

日本歯周病学会会誌のご案内

前回のニュースレター以降、日本歯周病学会会誌に掲載されました論文をご紹介します。日本歯周病学会会誌は2015年よりオンライン化され、J-STAGEで閲覧できます。また、発行に合わせてメールアラートを配信しておりますので、学会にメールアドレスを登録されていない会員各位におかれましては、本学会ホームページよりご登録をお願いします。

日本歯周病学会会誌

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/periodo-char/ja>



日本歯周病学会会誌 Vol. 65 (2023) No. 3

• 総説

「インプラント周囲炎の診断・リスク因子・治療に関するエビデンスと今後の課題」

蓮池 聡, 今村健太郎, 高橋慶壮, 林 丈一朗, 安田忠司, 目澤 優, 田中真喜, 児玉利朗, 辰巳順一

• ミニレビュー

「歯周病の病態形成における好中球の二面性：歯周炎の制御と病態進行に関する最新の知見から」

梶川哲宏, 山田 聡

「NR4A1を標的とした薬物性歯肉増殖症治療開発」

松田真司, 水野智仁

日本歯周病学会会誌 Vol. 65 (2023) No. 4

• 総説

「歯周組織の理解の深化と幹細胞移植治療への応用」
竹立匡秀

• 原著

「マウス骨芽細胞様細胞におけるグルコース欠乏によって発現変動する遺伝子解析と硬組織分化に及ぼす影響」

田口洋一郎, 嘉藤弘仁, 李 潤伯, 中田貴也, 山内伸浩, 東 仁, 万代千晶, 緒方智壽子, 梅田 誠

• 症例報告レビュー

「歯周治療における禁煙支援の実践：歯周治療における禁煙支援の手順書に基づいた禁煙支援を適用した長期経過症例から」

稲垣幸司

• 症例報告

「矯正治療中に歯周病が再発した広汎型侵襲性歯周炎に対する包括的歯周治療」

山田 潔, 佐藤秀一

「セメント質剝離の治療予後」

山崎厚作, 山崎幹子, 高橋慶壮

役員名簿

日本歯周病学会役員（令和5（2023）年4月1日～令和7（2025）年3月31日）

理事長	沼部幸博						
副理事長	西村英紀						
常任理事	荒川真一	稲垣幸司	梅田 誠	河口浩之	木下淳博	小牧基浩	齋藤 淳
	佐藤 聡	高柴正悟	辰巳順一	多部田康一	中川種昭	仲谷 寛	野口和行
	三谷章雄	八重柏 隆	山本松男	湯本浩通	吉成伸夫	吉村篤利	
前理事長	小方頼昌			監 事	伊藤公一	吉江弘正	
庶務担当	岩田隆紀（幹事 片桐さやか）			会計担当	佐藤秀一（幹事 伊藤 弘）		
名誉会員	安孫子宜光	雨宮 璋	新井 高	池田雅彦	石川 烈	伊集院直邦	和泉雄一
	伊藤公一	伊東隆利	上田雅俊	上野和之	恵比須繁之	太田紀雄	大塚吉兵衛
	岡田 宏	岡本 莫	岡本 浩	奥田克爾	加藤 熙	亀山洋一郎	鳴井久一
	栢 豪洋	川瀬俊夫	川浪雅光	栗原英見	五味一博	齋藤和子	齋藤 滋
	雫石 聰	島内英俊	下野正基	申 基喆	末田 武	滝口 久	田中昭男
	谷口威夫	出口眞二	永田俊彦	中村治郎	二階宏昌	野口俊英	野村慶雄
	原 宜興	東 克章	廣瀬哲之	福田光男	船越栄次	古市保志	堀内 博学
	前田勝正	三辺正人	宮下 元	宮田 隆	村上伸也	村山洋二	森田 学
	矢嶋俊彦	山崎和久	山田 了	横田 誠	吉江弘正	渡邊達夫	
	Alice DeForest	Gregory J. Seymour	Martin A. Taubman	Pierre C. Baehni			
	Thomas E. Van Dyke						

評 議 員 □理事長 ●副理事長 ◎常任理事 ○理事

北海道大学大学院歯学研究科	伊藤 太一(口腔インプラント学, 准)	鎌田 要平(横浜クリニック, 准)
○菅谷 勉(歯周病, 教)	日本歯科大学生命歯学部	鶴見大学歯学部
田中佐織(大学病院, 教)	□○沼部幸博(歯周病, 教)	長野孝俊(歯周病学, 教)
北海道医療大学歯学部	伊藤 弘(歯周病, 准)	八島章博(歯周病学, 講)
○長澤敏行(歯周・歯内, 教)	関野 愉(歯周病/総合診療, 准)	小林一行(短期大学部, 教)
加藤幸紀(歯周・歯内, 講)	五十嵐寛子(歯周病, 講)	白川 哲(短期大学部, 教)
森 真理(大学病院, 講)	◎○仲谷 寛(総合診療, 教)	北村景子(附属病院, 衛)
岩手医科大学歯学部	大澤銀子(総合診療, 准)	松本歯科大学
◎○八重柏 隆(歯周療法学, 教)	小川智久(総合診療, 准)	◎○吉成伸夫(保存(歯周), 教)
村井 治(歯周療法学, 講)	○葛城啓彰(共同利用研究センター, 教)	○宇田川信之(生化学, 教)
東北大学大学院歯学研究科	日本歯科大学新潟生命歯学部	音琴 淳一(健康増進口腔科学, 教)
○山田 聡(歯内・歯周, 教)	◎○佐藤 聡(歯周病, 教)	田口 明(歯科放射線学, 教)
根本英二(歯内・歯周, 准)	両角祐子(歯周病, 准)	西窪結香(大学病院, 衛)
奥羽大学歯学部	大森みさき(総合診療, 准)	朝日大学歯学部
○高橋慶壮(歯周病学, 教)	高塩智子(総合診療, 准)	◎○辰巳順一(歯周病, 教)
新潟大学大学院医歯学総合研究科	両角俊哉(保存1, 教)	北後光信(歯周病, 准)
◎○多部田康一(歯周診断・再建学, 教)	平野恵実(歯科衛生士科, 衛)	須藤瑞樹(歯周病, 助教)
高橋直紀(歯周診断・再建学, 准)	日本大学歯学部	友藤孝明(社会口腔保健学, 教)
川瀬知之(歯科薬理学, 准)	◎○佐藤秀一(歯周病, 教)	荒木美穂(歯科衛生士専門学校, 衛)
小林哲夫(総合病院, 教)	菅野直之(歯周病, 准)	愛知学院大学歯学部
杉田典子(総合病院, 講)	吉沼直人(歯周病, 准)	◎○三谷章雄(歯周病学, 教)
野中由香莉(総合病院, 講)	今井健一(感染症免疫学, 教)	菊池 毅(歯周病学, 准)
明海大学歯学部	日本大学松戸歯学部	林 潤一郎(歯周病学, 准)
林 丈一朗(歯周病学, 教)	○小方頼昌(歯周治療, 教)	西田英作(歯周病学, 講)
溝部健一(機能保存回復学, 講)	中山洋平(歯周治療, 准)	◎○稲垣幸司(短期大学部, 教)
東京医科歯科大学	高井英樹(歯周治療, 准)	長谷川義明(微生物学, 教)
◎○岩田隆紀(歯周病学, 教)	泉福英信(感染免疫, 教)	大阪歯科大学
青木 章(歯周病学, 教)	昭和大学歯学部	◎○梅田 誠(歯周病学, 教)
片桐さやか(歯周病学, 准)	◎○山本松男(歯周病, 教)	田口洋一郎(歯周病学, 准)
◎○木下淳博(教育メディア開発学, 教)	滝口 尚(歯周病, 准)	前田博史(口腔治療学, 教)
竹内康雄(生涯口腔保健衛生学, 講)	小出容子(歯周病, 講)	大阪大学大学院歯学研究科
新田 浩(総合診療歯科学, 教)	須田玲子(歯周病, 講)	山下元三(口腔治療, 講)
東京歯科大学	神奈川歯科大学	竹立匡秀(口腔治療, 講)
◎○齋藤 淳(歯周病学, 教)	◎○小牧基浩(歯周病, 教)	野崎剛徳(附属病院, 准)
富田幸代(歯周病学, 准)	青山典生(教育企画, 教)	徳島大学歯学部
今村健太郎(歯周病学, 講)	○兄玉利朗(特任教)	◎○湯本浩通(歯周歯内, 教)
備前島崇浩(千葉歯科医療センター, 講)	浜田信城(微生物, 教)	二宮雅美(歯周歯内, 助教)
○石原和幸(微生物, 教)	田村利之(横浜クリニック, 特任教)	稲垣裕司(歯周病科, 講)

尾崎和美(口腔保健支援学, 教)
 岡山大学学術研究院医歯薬学域
 ○高柴正悟(歯周病態学, 教)
 大森一弘(歯周病態学, 准)
 山本直史(総合歯科, 教)
 広島大学歯学部
 ○水野智仁(歯周病態学, 教)
 ○河川浩之(大学病院, 教)
 柴秀樹(歯髄生物学, 教)
 九州歯科大学
 ○中島啓介(歯周病, 教)
 白井通彦(歯周病, 准)
 守下昌輝(クリニカルワークショップ開発, 准)
 村岡宏祐(クリニカルワークショップ開発, 講)
 九州大学大学院歯学研究院
 ●西村英紀(歯周病学, 教)
 讀井彰一(大学病院, 講)
 福田隆男(大学病院, 講)
 福岡歯科大学
 ○坂上竜資(歯周病, 教)
 吉永泰周(歯周病, 准)

○金子高士(口腔医療センター, 教)
 米田雅裕(総合歯科学, 教)
 田中芳彦(機能生物化学, 教)
 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
 ○野口和行(歯周病学, 教)
 白方良典(歯周病学, 准)
 中村利明(大学病院, 講)
 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
 ○吉村篤利(歯周歯内, 教)
 鵜飼孝(大学病院, 教)
 尾崎幸生(歯周歯内, 助教)
 慶應義塾大学医学部
 ○中川種昭(歯科・口腔外科, 教)
 森川暁(歯科・口腔外科, 講)
 神戸常盤大学短期大学部
 ○高橋由希子(口腔保健学科, 衛)
 静岡県立大学短期大学部
 吉田直樹(歯科衛生学科, 教)
 太成学院大学
 大浦清(看護学部, 教)

宝塚医療大学
 ○荒川真一(保健医療学部, 教)
 東京歯科大学短期大学
 ○杉戸博記(歯科衛生学科, 教)
 日本歯科大学東京短期大学
 ○野村正子(歯科衛生科, 衛)
 松澤澄枝(歯科衛生科, 衛)
 九州看護福祉大学
 金子憲章(口腔保健学科, 教)
 特定非営利活動法人日本臨床歯周病学会
 ○木村英隆(推薦)
 公益社団法人日本歯科衛生士会
 ○高橋由希子(推薦)

一般関係(五十音順)

相野誠(愛知県)
 赤堀康(愛知県)
 浅原洋士(徳島県)
 新井英雄(岡山県)
 ○荒木久生(埼玉県)
 有田博一(東京都)
 飯野文彦(東京都)
 池田康男(静岡県)
 池田頼宣(東京都)
 石谷昇司(東京都)
 ○石原裕一(愛知県)
 市原健太郎(福岡県)
 市丸英二(佐賀県)
 市村光(埼玉県)
 伊藤博夫(福岡県)
 伊藤正満(愛知県)
 岩田光弘(岡山県)
 岩野義弘(東京都)
 岩本義博(香川県)
 ○内田剛也(神奈川県)
 梅村昌孝(愛知県)
 江田昌弘(神奈川県)
 遠藤憲行(岩手県)
 大石慶二(香川県)
 大浦清(大阪府)
 大江丙午(岡山県)
 ○大野友三(愛知県)
 岡部京平(京都府)

小田茂(千葉県)
 片山明彦(東京都)
 ○金子至(長野県)
 上條博之(長野県)
 亀井英彦(栃木県)
 鴨井久博(東京都)
 川村浩樹(東京都)
 菊池重成(東京都)
 北村正博(大阪府)
 北村秀和(東京都)
 木戸淳一(徳島県)
 ○木村英隆(福岡県)
 久保田健彦(新潟県)
 熊谷敦史(岩手県)
 黒柳隆穂(愛知県)
 郷家英二(東京都)
 香坂陽介(山口県)
 小林宏明(東京都)
 斎田寛之(埼玉県)
 佐瀬聡良(千葉県)
 佐藤昌美(北海道)
 真岡淳之(滋賀県)
 澤田弘一(岡山県)
 汐見登(静岡県)
 渋川義宏(北海道)
 島袋善夫(大阪府)
 清水宏康(東京都)
 白木雅文(岐阜県)

菅谷彰(神奈川県)
 杉田裕一(茨城県)
 杉山貴志(神奈川県)
 鈴木瑛一(東京都)
 鈴木基之(東京都)
 関野仁(東京都)
 田井秀明(新潟県)
 高井靖子(群馬県)
 高島昭博(福岡県)
 高橋潤一(東京都)
 滝川雅之(岡山県)
 竹内泰子(東京都)
 田中秀樹(福岡県)
 田中真喜(神奈川県)
 谷口崇拓(長野県)
 土岡弘明(千葉県)
 土井伸浩(広島県)
 富井信之(新潟県)
 ○中島貴子(新潟県)
 永井淳(福岡県)
 長縄敬弘(愛知県)
 成石浩司(岡山県)
 二階堂雅彦(東京都)
 西田哲也(東京都)
 菱川敏光(岐阜県)
 ○平野治朗(神奈川県)
 平野裕之(京都府)
 藤川謙次(東京都)

○藤田剛(三重県)
 藤本淳(岩手県)
 保坂均(群馬県)
 穂坂康朗(東京都)
 町頭三保(鹿児島県)
 松下健二(愛知県)
 三浦真由美(福岡県)
 ○水上哲也(福岡県)
 溝部潤子(大阪府)
 南こずえ(栃木県)
 峯柴淳二(岡山県)
 宮尾益佳(新潟県)
 村上弘(愛知県)
 村田雅史(新潟県)
 村橋慶宣(大阪府)
 目澤優(埼玉県)
 茂木信道(神奈川県)
 茂木美保(東京都)
 安田忠司(愛知県)
 梁川輝行(岩手県)
 柳学(大阪府)
 山下素史(福岡県)
 吉田茂(福岡県)
 ○若林健史(東京都)
 渡辺和志(埼玉県)
 渡辺孝章(神奈川県)
 渡辺久(神奈川県)

賛助会員

医歯薬出版(株)
(株)NDC
エビス(株)
(有)エルバ
長田電機工業(株)
(株)ガイドデント
花王(株)
科研製薬(株)
クインテッセンス出版(株)
グラクソ・スミスクライン・コン
シューマー・ヘルスケア・ジャパン
(株)
小林製薬(株)
佐藤製薬(株)

サンスター(株)
サンデンタル(株)
三宝製薬(株)
(株)ジーシー
(株)ジーシー昭和薬品
(株)松風
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
ジンヴィ・ジャパン合同会社
ストローマン・ジャパン(株)
タカラベルモント(株)
デンタルプロ(株)
デンツプライシロナ(株)
(株)トクヤマデンタル
(株)ナカニシ

(株)ニッシン
日本歯科薬品(株)
白水貿易(株)
ヒューフレディ・ジャパン合同会社
(株)フィリップス・ジャパン
ホワイトエッセンス(株)
(株)マイクロテック
(株)モリタ
(株)ヨシダ
ライオン(株)
ライオン歯科材(株)
(株)ワイディエム

(五十音順)

日本歯科医学会役員（令和5（2023）年4月1日～令和7（2025）年3月31日）

理事 沼部幸博
評議員 小牧基浩 齋藤 淳 西村英紀
予備評議員 岩田隆紀 佐藤 聡 佐藤秀一

[お願い] 名称の変更・所属評議員の異動等ありましたら、すみやかに事務局までご連絡ください。

編集後記

令和6年能登半島地震発生。今年はわが国にとって悲惨な幕開けとなりました。今も不便な生活を強いられている被災者の皆様に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。本学会HPのトップ画面には「令和6年能登半島地震に伴う対応について」のバナー表示があり、被災者の皆様の健康維持のために有益な情報を発信しております。会員の皆様には、この情報が少しでも多く被災地に届くようにお力添えをお願いいたします。

さて、第67回春季日本歯周病学会学術大会（郡山）が盛大に開催されます。思い起こせば、“第63回春季日本歯周病学会学術大会（郡山）が中止になりました。まさかの新型コロナウイルスの蔓延……。”、というのが、私が2020年春に書かせていただいた本ニュースレター編集後記の書き出しでした。そして何の因果か、今回再び、編集後記執筆の順番が回ってきました。主管校の先生方をはじめ、関係の皆様のご努力・ご尽力、そしてリベンジ精神に心より敬意を表します。新型コロナウイルス感染症が5類感染症になり、世の中も随分と戻ってきましたが、コロナ禍を経てアップデートしたシステムもいくつかあります。本学会でいえば、学術大会のオンデマンド配信が継続される見込みです。対面での侃侃諤諤の議論は研究者・臨床家にとって大変に意義のあることですが、PC画面を一人で見つめながら、じっくりと思考を巡らせるのも大切なことだと感じます。自身の成長のため、それぞれの利点を上手く役立てていきたいものです。

今号のニュースレターは、郡山での春季学術大会の概要に加え、秋季学術大会（於札幌）の案内、学生会員制度・学部学生優秀発表賞の創設について、そして故西原迪彦先生追悼文など、盛り沢山の内容となっています。会員の皆様には、日々の研究・臨床・教育活動の合間にご一読いただければ幸いです。

広報委員会では、昨年来、認定医・専門医・認定歯科衛生士の取得・更新におきまして、ご自身の学会参加および認定講習会受講の履歴を容易に確認できる新システムの構築を目指しております。ぜひ、申請書作成の際にお役立て下さい。また、一般の方に向けた歯周病情報WEBサイト「PERIO BOOK」を近々に公開すべく、鋭意、努力しております。その他、学会広報に関しまして、会員の皆様のご意見・ご感想をお待ちしておりますので、併せてよろしくご願ひいたします。

(広報委員会委員 成石浩司)